

## 新型コロナウイルス感染症について その2

令和2年4月3日

学校などが休校となり、自粛が促されている一方で、ライブハウスや飲み会などの人ごみから集団感染が発生するなど各地で新型コロナウイルス感染が拡大しております。医療崩壊の危険性が叫ばれる中、これまでは感染の広がりにはぎりぎり持ちこたえているとの見解でした。しかし、多くの国内外の医療従事者からは、1ヶ月も前から限界を超える危険性が指摘されております。感染者が増加する一方、マスクや防護装備の不足もあり医療機関内でも感染が広がることで人員が制限され、重症者を治療する病床や人工呼吸器、人口肺装置が不足するといった、中国以降ヨーロッパやアメリカで起きている事態がもはや、日本でも起ころうとしています。大都市にとどまらず、小田原でも感染者が増大したら受け皿には限界があります。

新型コロナウイルス感染症には、今のところ特效薬も予防のワクチンもありません。感染しても多くの方は軽症で安静にしているだけで改善しますが、一部の方が重症化します。特に高齢者や基礎疾患のある方が重症化の危険性が高いといわれております。ただし高齢といっても、60歳台からリスクが大きくなっているようですのでいわゆる中年でも油断できません。基礎疾患としては、特にコントロール不良の糖尿病や心肺疾患に注意が必要です。ただし、最近では若い方でも重症化する報告もあり、いくらでも例外は存在します。

今こそ、1人ひとりが、感染に対する意識を強く持つ必要があります。もはや誰もが感染のリスクがあり、もしかしたら自分は無症状で感染しているかもしれないと仮定し、不要不急の外出や里帰り、密閉・密集・密接を避け、うつらない・うつさないようなイメージを心がけることが大切です。

当院では、3月から感染予防対策を講じて参りましたが、さらに強化致します。

- ・待合室、診察室、処置室、検査室いずれの部屋も常時窓を少し開けて、換気します（密閉対策）。
- ・手すりやドアノブの消毒頻度を上げます。
- ・スタッフの健康管理をしっかりと行います。

来院される方へのお願いがあります。

- ・風邪症状のある方は、マスク着用は咳エチケットのうえ風邪外来をご利用下さい。逆に、通常の通院の方は風邪外来の時間を避けて下さい。
- ・待合室が混雑している場合、駐車場や玄関でお待ちいただく事があります（密集対策）。  
また、診療時間前に入り口でお待ちの際は、前の方との距離を保ってお待ち下さい。
- ・院内でのマスクをはずしての会話や大声はお控え下さい（密接対策）
- ・検査時の飛まつ感染対策として、しばらくの間、上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）を制限します。

今後の状況によっては上記内容に変更が生じる場合があります。その際はホームページや院内掲示でお知らせして参ります。